

品川にあった  
原美術館の記憶

展覧会、そのメイキング、作家のギャラリートーク  
2001年から2021年の記録から原美術館の活動を振り返ります  
記憶を紐解くと共に、その空気や気分を共有し「美術館とは何か」というテーマに迫ります

# OUR ART MUSEUM

監督・撮影・編集/岸本 康 2021年 日本語 120分 HDTV ©2021 Ufer! Art Documentary



THEATRE  
EQ KYOTO

2022  
5月27,28,29,30日ロードショー  
(金) (土) (日) (月) 各回80席 チケットは劇場 webで

# OUR ART MUSEUM

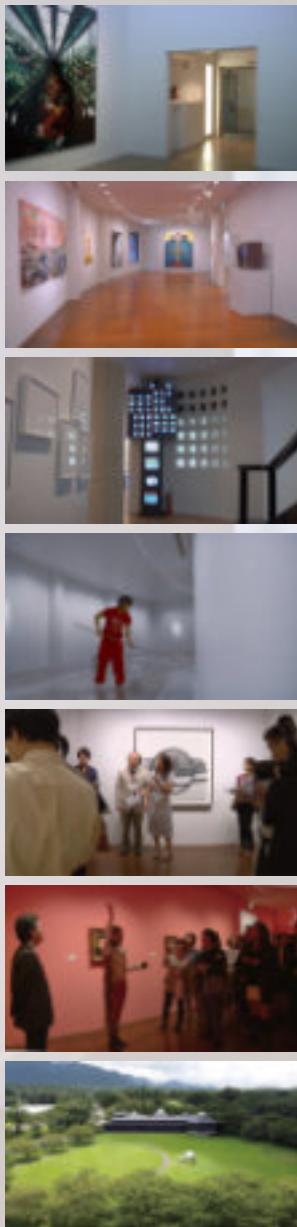
原美術館は1938年に原邦造氏の私邸として渡辺仁氏により設計され、その後1979年に現代美術館として開館しました。以来約40年にわたって活動を続け、2021年1月多くの惜しまれる声のなか閉館し、群馬県にある別館に、新たに「原美術館ARC」として同年4月にリニューアルオープンしました。

この映画の主役はその原美術館。展覧会、そのメイキング、作家のギャラリートークなど、2001年から2021年の記録から原美術館の活動を振り返ります。美術館を訪れた人の記憶を紐解くと共に、訪れる機会がなかった人にもその空気や気分を共有し、「美術館とは何か」というテーマに迫ります。

## 主な登場人物

森村泰昌、東芋、ピピロッチェ・リスト、加藤藤、照屋勇賢、米田知子、ジム・ランビー、杉本博司、原俊夫、原美術館スタッフ、ほか

この映画は文化庁令和2年度第3次補正予算事業「ARTS for the future!」の補助対象事業で制作しました。



閉館から随分と時間が過ぎても、毎日のように原美術館の思い出をつぶやく人が絶えません。こんなに愛されていた美術館だった事を感じつつ編集の日々を送りました。

私が原美術館の記録撮影を始めたのは、展覧会の設営で滞在した2000年代に「この美術館を記録して公開したい」と思った事がきっかけです。

そこには残すべき「文化」がありました。

以来、私は自主制作として撮影を始めた訳ですが、美術館として私の制作を受け入れて下さり、長年に渡る協力を頂きました。そして1本の長編記録映画が出来ました。

多くの方に原美術館の活動を垣間見ていただく事や、延いては美術館の一つのあるべき姿や、愛される美術館というものについて考えていただく時間になればと思っています。

原俊夫氏と美術館スタッフの方々への感謝と共に、私の記憶を美術と美術館ファンの方へ贈ります。

**Ufer! Art Documentary**  
監督 岸本 康

## THEATRE E9 KYOTO 共催事業

### OUR ART MUSEUM 上映日程 上映時間120分

5/27(金)	5/28(土)	5/29(日)	5/30(月)
	13:30- アフタートーク	13:30- アフタートーク	13:30-
18:30-	17:30-	17:30-	18:30-

\* アフタートークはゲストと監督・岸本康が美術館について語ります

チケットは劇場webサイトからご購入いただけます

一般：前売1800円 当日2000円

学生：前売1200円 当日1500円 (高校生以下無料)

**THE  
ATRE  
E9 KYO  
TO**

〒601-8013 京都市南区東九条南河原町9-1

Tel 075-661-2515(10:00 ~ 18:00)

Mail [info@askyoto.or.jp](mailto:info@askyoto.or.jp)

Web <https://askyoto.or.jp/e9>



JR「京都」駅八条口から徒歩約14分

JR・京阪「東福寺」駅から徒歩約7分

京都市営地下鉄「九条」駅から徒歩約11分

京都市バス「河原町東寺通」(16,84系統)より徒歩約3分

京都市バス「九条河原町」(16,202,207,208,84,88系)より徒歩約6分